

地域での活動

学校防災キャンプ

7月23日～24日、今年も小学校にて「学校に泊まろう会（学校防災キャンプ）」を実施しました。

今年は、3年ぶりに「**簡易救命救急講習**」を実施。区役所から職員の方に来ていただき、子供達に指導していただきました（私も、事前に「応急手当普及員再講習」を受講しました）。また、今年も「サバイバル飯炊き（空き缶での炊飯）」を実施しました。



真夏の実施に関わらず、今年は夜が肌寒いほどの気温となり、子供達にとっても寝苦しさは例年ほどではなかったようです。

しかしながら、友達と協力してテントの設営や火起こしを行ったり、また、深夜の話し声や物音がどれほど響くかを体験する等、**普段は出来ない経験をする**ことは、いざという時に**多少なりとも役に立つのではない**かと思います。

事前準備や当日の見守りは大変ですが、これからもスタッフとして参加していきたいと思っています。



簡易救命救急講習



空き缶炊飯



朝5時の校庭



自転車放置防止協力員

7月上旬、永福和泉地域区民センターで開催された「杉並区自転車放置防止協力員地域別連絡会」に、富士見ヶ丘駅担当の協力員の一人として参加しました。

＜放置自転車の台数＞

平成23年度	平成25年度	平成27年度
1,773台	1,430台	1,172台



区内では400名強の方が自転車放置防止協力員として活動されており、**放置自転車の台数は、年々減少**してきております。私も引き続き、協力員の一人として活動していきたいと思っています。

保護司活動

2月から委嘱された保護司(*)の一員として、7月に行われた、

- 社会を明るくする運動 駅頭活動
- ひまわりフェスタ(於:セシオン杉並)に参加しました。また、10月下旬には、定例研修会に参加しました。

(*)犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティア。保護司法に基づき、法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員。



保護司となって、半年強が経ちました。対象者との面接だけでなく、研修や広報活動等、**私自身にとっても新たな経験**となっております。誰もが住みよい地域社会となるよう、引き続き職責を果たしていきたいと思っています。



杉並区議会議員（無所属） 岩田いくま 区政報告

第52号(平成28年秋号)

発行: 岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX: 03-3247-8660 E-Mail: ikuma@gakushikai.jp
HP: http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています！)

岩田いくま(生真)略歴: 昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。平成27年5月より4期目。
趣味: バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族: 妻、長男(13歳)、長女(11歳)、次男(8歳)。

保育園の需要と供給、ミスマッチ ～「数合わせ」の待機児童解消緊急対策～

区政報告第51号(前号)でとりあげたとおり、平成28年5月、杉並区は「待機児童解消緊急対策」を示し、「このままでは来春最大565名が待機児童となる。そこで、緊急対策として、4箇所の公園廃止を含めて緊急に保育園を追加整備する(*1)」という補正予算が臨時議会に提案され、公表からたった5日で決定されました(**私は、保育施設の追加整備に異議はありませんが、進め方や建設予定地に問題があり、かつ必要数を約400名も上回る定員だったため、その是正を求めて反対しました**)。

(*1)全体で1,141名分。そのうち、**整備地域が明示された「区有地転用」分は、795名分(下表参照)**。

その後、議会での審議のために積算資料を請求したところ、9月に出てきた資料からは、「**供給不足の地域に保育園をつくるのではなく、(立地条件等から)単につくりやすいところにつくる**」計画であったことが判明しました(10月3日の決算特別委員会において指摘)。

＜緊急対策段階での地域別保育定員と需要数見込 他＞

地域	0～3歳			緊急対策での追加整備 (区有地転用分)
	定員	需要数見込	差(供給不足)	
1 井草	591	700	-109	340
2 西荻北	661	867	-206	25
3 西荻南	560	571	-11	0
4 久我山・高井戸	702	714	-12	215
5 浜田山	376	401	-25	15
6 方南・和泉	368	710	-342	0
7 松ノ木・成田	616	652	-36	100
8 高円寺	527	583	-56	0
9 阿佐ヶ谷	646	468	178	0
10 荻窪北	545	500	45	100
11 荻窪南	547	465	82	0
12 和田・堀ノ内	525	517	8	0
13 永福	286	368	-82	0
総計	6,950	7,515	-565	795

* 需要数見込(及び差)は、端数処理を行っていないため、総計と一致しません

* 地域分けは、区が独自に設定したものです

左図のとおり、**供給不足が著しい方南・和泉地域では1箇所も区有地転用はなされておらず**、西荻北地域や永福地域でも供給不足は顕著です。一方で、**久我山・高井戸地域では供給不足が12名のところ、2つの地域公園の一部廃止を強行してまで総定員200名以上の保育園整備**を行っています。地域毎の需要を見据えた保育園整備を行っているとはとても言えず、**杉並区全体での単なる「数合わせ」と**言わざるをえません。



このような需給のミスマッチを放置した緊急対策で本当に待機児童ゼロを実現できるのか、また、**余裕をもたせた定員確保のために、さほど供給不足ではない地域で公園廃止を強行する区政が区民の信頼を得られるのか、私自身は非常に疑問を感じます。**

次回の定例区議会(平成28年第4回定例会)は、11月17日(木)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX: 03-3247-8660 もしくは E-Mail: ikuma@gakushikai.jp

決算特別委員会

9月30日～10月13日、決算特別委員会が開催され、10月3日、6日、11日に質問者として登壇しました。以下、その一部を取り上げます。

* 決算特別委員会の様子は、杉並区議会公式ホームページの委員会録画放映(下記)でご覧いただけます。

http://suginami.gijiroku.com/voices/g07_Video2_Search.asp

【質問でとりあげたテーマ】

3日	施策目標の達成状況
	待機児童解消緊急対策本部 及び その緊急対策 (P.1参照)
6日	高齢者のいきがい活動 子育て応援券
	子供の居場所づくり (放課後等居場所事業)
11日	子供の居場所づくり (放課後子ども教室、校庭開放)
	公園行政 図書館の蔵書

【施策目標の達成状況】

平成24年度から始まった総合計画(10年計画)では、事業の効果や進捗状況を測るために、施策指標を設定しています(平成27年度は84指標)。



平成27年度決算では、**目標を達成した指標数は4割弱**にとどまりました。

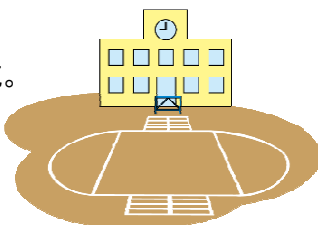
また、**平成24年度以降の4年間、一度も目標値に到達していない指標も20にのぼります**。

財政指標(財政の弾力性を判断する「経常収支比率」や、基金(貯金)と区債(借金)の状況)は評価できるものでしたが、**施策の進捗／達成状況は不十分**ですので、引き続きチェック機関として指摘を続けていきたいと思ひます。

【子供の居場所づくり】

小学校を活用した「放課後等の子供の居場所」づくりの施策としては、

- ◆ 平成27年度に始まった「放課後等居場所事業(平成27年度は4校でモデル実施)」
- ◆ 「放課後子ども教室(有志による実行委員会形式。現在は12校で実施)」
- ◆ 「校庭開放(多くの小学校で実施。ただし、平日はほとんどの学校で水曜日のみ)」



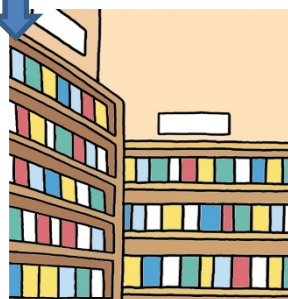
各々が良い取組みである一方、有償ボランティアや指導員への謝礼単価が異なる等、制度を「付け足してきた」弊害も存在しております。「子供の居場所づくり」という視点で、中長期を見据えて**制度の再構築を提言**しました。

また、可能な限り多くの小学校で全ての曜日を「放課後等の子供の居場所」とするため、例えば学童クラブが学校内に設置されている小学校では、学童クラブ運営を委託している民間事業者に放課後子ども教室の実施を委託することも、**ひとつの方策として提案**しました。



【図書館の蔵書】

区立施設再編整備計画の一環として、「図書館における蔵書規模の適正化」が検討されております。昨年度末の教育委員会においてその方針が報告され、現在の蔵書235万冊のうち、新たな基準に基づき34万冊が除籍(廃棄、寄贈等)対象となることが示されました。



書籍によっては所蔵数が40冊を超えるものもあり(直近の芥川賞受賞作等)、時期をみて複数所蔵する書籍を適切に除籍することは理解できますが、多様な書籍を所蔵することは図書館充実度の指標でもあります。

質疑の中で、蔵書**規模の適正化を実施しても、タイトル数は維持**をしていく旨、**2** 確認をとりました。

調査活動

郷土博物館

10月下旬、

- 郷土博物館(大宮1丁目)の特別展「祭りばやしのひびき ～杉並の祭礼と郷土芸能～」
- 郷土博物館分館(天沼3丁目)の区民参加型展示「荻窪暗渠(あんきょ)展」を鑑賞しました。



「祭りばやしのひびき」では、**郷土芸能の魅力や地域の文化の継承**

について、改めて考える機会となりました。「荻窪暗渠展」では、**まちづくりの多様な視点**について、考えさせられました。日頃、何気なく接している文化や生活環境について振り返るよい機会ですので、ご興味のある方は足を運びいただければと思います(どちらも11月27日(日)まで開催されております)。



文化祭

10月中旬、ゆうゆう館(旧敬老会館)を運営するNPO法人が区内高齢者施設にて開催した「文化祭」を鑑賞しました。



当日は小学生のチアダンスと、年配の方々の合唱を鑑賞させていただきました。翌日に鑑賞した



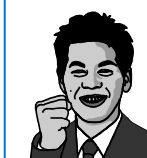
「すぎなみ舞祭(子供が主役のおどりの祭典)」でも感じましたが、子供達も、人生の先輩方も、舞台の上では非常に輝いており、**世代を問わず、「活躍できる居場所の大切さ」**を改めて実感しました。地域の中には、こうした「居場所づくり」を支えている方がたくさんおられます。なんでも行政が実施するのではなく、こうした「**地域の主体的な活動をしっかり支える区政**」をいかに実現していくか、区議として、また地域の一人として考え、取組んでいきたいと思ひます。

施設再編整備説明会

9月上旬、区民センターで開催された「区立施設再編整備計画改定案」の説明会に参加しました。

＜各会場の参加者数(区職員及び区議会議員を除く)＞

日付	会場	参加者数
9月1日	西荻区民センター	39名
9月2日	永福和泉区民センター	22名
9月3日	杉並区役所	64名
9月5日	荻窪区民センター	30名
9月6日	セシオン杉並	46名



世代別人口構成の変化や区立施設の老朽化対応として、区立施設の再編整備は必要だと私も考えます。しかしながら、**区民との丁寧な対話を欠いた最近の区政の進め方には、私自身も含め、疑問を感じる区民の方が多くなってきている**と感じております。今後、計画が改定されるにあたり、区民の方の意見がどう反映されたのかも確認のうえ、来年度以降の予算審議にのぞみたいと思ひます。

防災訓練

10月中旬、防災会にて行われた防災訓練に、子供と参加しました。

主な訓練として、**消火器の操作と、スタンドパイプ(*)の操作**を行いました。

また、訓練終了後には、防災食(アルファ米の五目ご飯、カンパン及びクラッカー)をいただきました。
(*)道路上にある消火栓や排水栓に差し込み、ホースをつなぎ消火を行う道具



震災の被害を最小限に抑えるためには、**自助・共助・公助それぞれの分野で、災害対応力を高める必要**があります。昨年実施された「区民意向調査(対象者1,400名、回収数1,158名)」の結果では、「地域の防災会等が実施する訓練」への参加者は、4.4%にとどまっております。いざという時への備えとして、是非地域で行われる防災訓練にご参加いただければと思ひます。